

宇佐市

ほとかんだより

～宇佐市隣保館～

12月号

発行 宇佐市隣保館 宇佐市上田1043-1

☎0978(33)1707

2021年11月25日 (No.364)

開館時間: 平日 8:30～17:00

※土日祝日休館



隣保館ふれあい広場

開催日: 10月17日(日)



参加された皆様の感想を一部ご紹介します。

・「いのちをいただく」という事は食をむだにしない。わかっていた事で、残すことはしていないが、映像とはいえかなりのインパクト、心に残るものでした。あらためて一食に対して感謝しなければならないと思いました。

・絵本などで知っていた内容でしたが、実際の映像で生活の様子も見て「いのち」について又考えさせられました。これまでとちがう感覚です。部落解放運動は、自分の生活を変えることができると言っていました。仕事や生い立ちに誇りを持てるように、私も自分のことを見直したいと思いました。

・部落差別について何も知らなかった。知ろうとしなかったということに気が付きました。人権についてとても分かりやすい内容でした。本日は、このような機会をいただき、ありがとうございました。

・「生きる姿勢がかわること」ということばが映画の中に出てきました。ものの考え方、気持ちが今日また学習できました。ありがとうございました。

※ご参加ありがとうございました！

12月4日から10日は

人権週間です

国際連合は、1948年(昭和23年)に世界人権宣言を採択し、1950年(昭和25年)12月4日の第5回総会において、世界人権宣言が採択された日である12月10日を「人権デー」と決めました。

日本では、1949年(昭和24年)から毎年1週間(12月4日から同月10日まで)を「人権週間」と定め、世界人権宣言の意義を訴えるとともに人権尊重思想の更なる普及高揚を図るため、全国各地においてシンポジウム、講演会、座談会など様々な人権啓発活動が行われています。

この機会に、「思いやりの心」や「かけがえのない命」について、もう1度考えてみませんか？



宇佐市ではパープルリボンとオレンジリボンのツリー設置を行っています。

パープルリボンは、女性に対するあらゆる暴力の根絶を広く呼びかけるとともに、被害者に対して「ひとりで悩まず、まずは相談をしてください」というメッセージが込められたシンボルです。オレンジリボンは一人でも多くの方々に「児童虐待防止」に関心を持ってもらい、子どもたちの笑顔を守るために一人ひとりに何が出来るのかを考えてほしいというメッセージが込められたシンボルです。

12月は、北朝鮮拉致被害者の生存と救出を信じるシンボルのブルーリボンと12月3日の国際障害者の日のシンボルのイエローリボンで啓発ツリーを設置予定です！

(設置場所: 本庁3か所、院内安心院支所、図書館、隣保館)

★12月隣保館行事予定★

4日(土) 隣保館ふれあい講座

①午前9時～午前11時

- ・クリスマスリース作り
- ・人権に関するDVD鑑賞

②午後1時～午後3時

- ・しめ縄作り
- ・人権に関するDVD鑑賞

6日(月) 10:00～12:00
エコクラフト教室

12日(日) 10:00～12:00
休日サロン
ハローワークの求人情報等の閲覧
悩み事相談も行っています。
お気軽にお越しください。

14日(火) 10:00～12:00
書道教室

20日(月) 10:00～12:00
エコクラフト教室

21日(火) 10:00～12:00
書道教室

26日(日) 10:00～
ヒューライツ・シネマ
『めぐみ』

※隣保館休館

12月29日(水)～1月3日(月)

人権4コマまんが

人権パープサート・人権4コマまんがを市のホームページに掲載しています
※4コマまんがは毎月更新しています！

(世界人権宣言)

(人権週間を知らう！)



今月のヒューライツ・シネマ

北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」は、昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の模様を描いたドキュメンタリー・アニメです。

このアニメは、(原作と監修に横田滋さん・早紀江さんそして、作画に本そういちさん、出版社は双葉社)で、漫画「めぐみ」をモチーフとして制作されました。制作に当たっては、日本俳優連合の多大な協力をいただき、また、声優の方々もボランティアで出演してくださったそうです。

全編25分

